



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 サンケン電気株式会社

コード番号 6707

URL <https://www.sanken-ele.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 高橋 広

問合せ先責任者（役職名） IR部長

（氏名） 岩田 卓也（TEL） 048-472-1111

半期報告書提出予定日 2024年11月14日

配当支払開始予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|-------------|---------|-------|--------|-------|---------|------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期中間期 | 72,792 | △40.1 | △5,658 | — | △14,243 | — | 48,000 | 978.9 |
| 2024年3月期中間期 | 121,550 | 14.7 | 17,158 | 109.3 | 16,745 | 99.3 | 4,448 | 50.6 |

（注）包括利益 2025年3月期中間期 17,297百万円（△44.1%） 2024年3月期中間期 30,943百万円（31.4%）

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり中間純利益 |
|-------------|-----------------|-----------------------|
| 2025年3月期中間期 | 円 銭 1,987.72 | 円 銭 — |
| 2024年3月期中間期 | 184.27 | 178.82 |

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|----------------|----------------|-----------|
| 2025年3月期中間期 | 百万円 284,267 | 百万円 149,670 | % 52.5 |
| 2024年3月期 | 383,591 | 198,619 | 31.1 |

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 149,150百万円 2024年3月期 119,374百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|----------|--------------|----------|-------------|--------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2024年3月期 | 円 銭 — | 円 銭 15.00 | 円 銭 — | 円 銭 0.00 | 円 銭 15.00 |
| 2025年3月期 | — | 0.00 | | | |
| 2025年3月期（予想） | | | 円 銭 — | 円 銭 0.00 | 円 銭 0.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-------|--------|---|---------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 118,300 | △49.7 | △5,600 | — | △15,800 | — | 46,200 | — | 1,913.15 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 2社 (社名) Allegro MicroSystems, Inc.
Polar Semiconductor, LLC

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料9ページ「中間連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2025年3月期中間期 | 25,098,060株 | 2024年3月期 | 25,098,060株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年3月期中間期 | 947,618株 | 2024年3月期 | 950,014株 |
| ③ 期中平均株式数 (中間期) | 2025年3月期中間期 | 24,148,658株 | 2024年3月期中間期 | 24,143,241株 |

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 6 |
| 中間連結損益計算書 | 6 |
| 中間連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におきまして、2024年1月1日に発生した能登半島地震の被災による資本毀損の早期解消を図るとともに、株主還元、2024年中期経営計画期間における資金需要、財務体質の抜本的改善等に対応するため、本年8月、連結子会社であったAllegro MicroSystems, Inc. (以下、「アレグロ」) 株式の一部を売却し、この結果、アレグロは連結対象から除外され、持分法適用関連会社となりました。また、本年9月、連結子会社であったPolar Semiconductor, LLC (以下、「PSL」) の第三者割当増資が完了したことにより、当社からPSLへの出資形態は、直接出資から投資会社組成によるリミテッド・パートナーシップを通じた間接出資に切り替わり、PSLにつきましても連結対象から除外されることとなりました。

当中間連結会計期間の業績につきましては、上記の通り当中間期よりアレグロが連結対象から除外された影響から、連結売上高は727億92百万円と、前年同期比487億58百万円(40.1%)の減少となりました。損益面では、連結営業損失56億58百万円(前年同期 連結営業利益171億58百万円)を計上し、また、アレグロ株式の一部売却に伴う為替差損等が発生したことにより、連結経常損失142億43百万円(前年同期 連結経常利益167億45百万円)を計上する結果となりました。親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、アレグロ株式の一部売却により特別利益を計上した一方で、PSLの第三者割当増資完了に伴う同社への支援金拠出により特別損失を計上し、これらの結果、480億円となり、前年同期比435億51百万円(978.9%)の増加となりました。

当社では、2025年3月期より2024年中期経営計画をスタートしておりますが、初年度に当たる2025年3月期は震災影響からの立て直し期間と位置付け活動しております。早期にリカバリーを実現し、2026年3月期以降の本格的な収益性改善のため、新製品比率向上や既存製品の適正売価条件獲得、原価低減活動への取り組みを進めております。こうした中で、当社における後工程の主力工場である石川サンケン株式会社では、本年1月に発生した能登半島地震において被災した同社の志賀工場について、震災影響評価の結果、恒久的使用は困難となったことから、同工場を閉鎖することとしました。これに伴い、当社ではグループ後工程における生産再編を実施する予定です。

なお、2024年7月30日付「(開示事項の経過) 当社持分法適用関連会社株式の一部売却に伴う手取金の見込み額に関するお知らせ」の通り、当社は、2024年9月30日を基準日とする臨時決算を行い、分配可能額の欠損を解消した上で、自己株式取得による株主還元を実施する予定です。

市場別、地域別、製品別の売上高につきましては、以下の通りです。

・市場別売上高

(単位:百万円)

| 市場 | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) | | 増減 | |
|--------|--|--------|--|--------|---------|--------|
| | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 増減比(%) |
| 自動車 | 69,460 | 57.1 | 37,440 | 51.4 | △32,020 | △46.1 |
| 白物家電 | 25,021 | 20.6 | 23,920 | 32.9 | △1,101 | △4.4 |
| 産機、民生他 | 27,067 | 22.3 | 11,430 | 15.7 | △15,636 | △57.8 |
| 合計 | 121,550 | 100.0 | 72,792 | 100.0 | △48,758 | △40.1 |

・地域別売上高

(単位:百万円)

| 地域 | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) | | 増減 | |
|--------|--|--------|--|--------|---------|--------|
| | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 増減比(%) |
| 日本 | 28,002 | 23.0 | 18,836 | 25.9 | △9,165 | △32.7 |
| アジア | 61,682 | 50.8 | 43,365 | 59.6 | △18,316 | △29.7 |
| 北米・中南米 | 16,908 | 13.9 | 5,619 | 7.7 | △11,289 | △66.8 |
| 欧州 | 14,958 | 12.3 | 4,971 | 6.8 | △9,986 | △66.8 |
| 合計 | 121,550 | 100.0 | 72,792 | 100.0 | △48,758 | △40.1 |

・製品別売上高

(単位:百万円)

| 製品 | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) | | 増減 | |
|----------|--|--------|--|--------|---------|--------|
| | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 増減比(%) |
| パワーモジュール | 22,417 | 18.4 | 26,818 | 36.8 | 4,401 | 19.6 |
| パワーデバイス | 50,369 | 41.5 | 28,385 | 39.0 | △21,983 | △43.6 |
| センサー | 48,764 | 40.1 | 17,587 | 24.2 | △31,176 | △63.9 |
| 合計 | 121,550 | 100.0 | 72,792 | 100.0 | △48,758 | △40.1 |

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産の部は、2,842億67百万円となり、前連結会計年度末より993億24百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が178億84百万円、棚卸資産が289億17百万円、有形固定資産が607億12百万円減少したことなどによるものであります。

負債の部は、1,345億96百万円となり、前連結会計年度末より503億75百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が40億6百万円、未払費用が126億48百万円、長期借入金が489億56百万円減少したことなどによるものであります。

純資産の部は、1,496億70百万円となり、前連結会計年度末より489億48百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が173億83百万円、非支配株主持分が787億24百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、978億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ776億73百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、15億20百万円のマイナスとなり、前中間連結会計期間に比べ174億28百万円の収入減となりました。これは主に、棚卸資産の増加によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,073億38百万円のプラスとなり、前中間連結会計期間に比べ1,230億98百万円の収入増となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、284億94百万円のマイナスとなり、前中間連結会計期間に比べ283億22百万円の支出増となりました。これは主に、前年度において長期借入れによる収入、及び当年度において短期借入金の減少、並びにコマーシャル・ペーパーの減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績結果及び今後の見通し等を踏まえ、取り下げておりました2025年3月期通期連結業績予想を再設定いたしました。

2025年3月期通期連結業績予想

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|---------------------------|----------|----------|----------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) 2024年7月24日公表 | 百万円 — | 百万円 — | 百万円 — | 百万円 — | 円 銭 — |
| 今回修正予想(B) | 118,300 | △5,600 | △15,800 | 46,200 | 1,913.15 |
| 増減額(B-A) | — | — | — | — | — |
| 増減率(%) | — | — | — | — | — |
| (ご参考)前期実績 (2024年3月期) | 235,221 | 19,539 | 18,246 | △8,112 | △335.99 |

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年9月30日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 50,363 | 98,600 |
| 受取手形及び売掛金 | 36,097 | 18,212 |
| 商品及び製品 | 14,477 | 8,805 |
| 仕掛品 | 45,089 | 24,475 |
| 原材料及び貯蔵品 | 9,978 | 7,347 |
| その他 | 17,551 | 6,091 |
| 貸倒引当金 | △204 | △7 |
| 流動資産合計 | 173,353 | 163,525 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 29,348 | 17,658 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 53,133 | 13,114 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 1,445 | 1,351 |
| 土地 | 7,601 | 2,842 |
| リース資産(純額) | 4,293 | 725 |
| 建設仮勘定 | 15,970 | 15,387 |
| 有形固定資産合計 | 111,792 | 51,080 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 822 | 634 |
| のれん | 29,613 | 959 |
| 技術資産 | 36,346 | — |
| その他 | 5,683 | 96 |
| 無形固定資産合計 | 72,466 | 1,691 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,029 | 15,810 |
| 関係会社株式 | — | 46,572 |
| 繰延税金資産 | 8,941 | 180 |
| 退職給付に係る資産 | 3,994 | 4,428 |
| その他 | 10,093 | 1,049 |
| 貸倒引当金 | △80 | △71 |
| 投資その他の資産合計 | 25,977 | 67,970 |
| 固定資産合計 | 210,237 | 120,741 |
| 資産合計 | 383,591 | 284,267 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年9月30日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 15,564 | 11,558 |
| 短期借入金 | 26,422 | 19,602 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 12,129 | 11,820 |
| 1年内償還予定の社債 | — | 5,000 |
| コマーシャル・ペーパー | 9,000 | 4,000 |
| 未払金 | 1,724 | 14,529 |
| リース債務 | 1,011 | 29 |
| 未払費用 | 16,988 | 4,339 |
| 未払法人税等 | 1,336 | 4,831 |
| 災害損失引当金 | 688 | 454 |
| 業績連動報酬引当金 | 77 | 97 |
| その他 | 1,782 | 1,928 |
| 流動負債合計 | 86,725 | 78,193 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 15,000 | 10,000 |
| 長期借入金 | 74,581 | 25,625 |
| 長期末払金 | 452 | 18,052 |
| リース債務 | 2,631 | 33 |
| 繰延税金負債 | 2,583 | 1,521 |
| 株式報酬引当金 | 176 | 254 |
| 役員退職慰労引当金 | 5 | 5 |
| 退職給付に係る負債 | 2,064 | 286 |
| その他 | 750 | 624 |
| 固定負債合計 | 98,246 | 56,403 |
| 負債合計 | 184,971 | 134,596 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 20,896 | 20,896 |
| 資本剰余金 | 65,961 | 65,217 |
| 利益剰余金 | 9,213 | 57,214 |
| 自己株式 | △4,282 | △4,279 |
| 株主資本合計 | 91,788 | 139,049 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 500 | 457 |
| 為替換算調整勘定 | 26,879 | 9,496 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 206 | 146 |
| その他の包括利益累計額合計 | 27,585 | 10,100 |
| 非支配株主持分 | 79,244 | 520 |
| 純資産合計 | 198,619 | 149,670 |
| 負債純資産合計 | 383,591 | 284,267 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|---|--|--|
| 売上高 | 121,550 | 72,792 |
| 売上原価 | 72,450 | 56,410 |
| 売上総利益 | 49,100 | 16,382 |
| 販売費及び一般管理費 | 31,942 | 22,040 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 17,158 | △5,658 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 316 | 533 |
| 受取配当金 | 14 | 16 |
| 金銭の信託運用益 | 422 | 71 |
| 雇用調整助成金 | 14 | 175 |
| 雑収入 | 347 | 230 |
| 営業外収益合計 | 1,115 | 1,027 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 682 | 1,479 |
| 為替差損 | 567 | 5,925 |
| 持分法による投資損失 | — | 1,953 |
| 雑損失 | 278 | 254 |
| 営業外費用合計 | 1,528 | 9,612 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 16,745 | △14,243 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 1,530 |
| 持分変動利益 | — | 97,148 |
| 事業分離における移転利益 | — | 7,510 |
| 特別利益合計 | — | 106,188 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 31 | 8 |
| 減損損失 | 264 | 1,330 |
| 投資有価証券売却損 | 440 | — |
| 災害による損失 | — | 14 |
| 事業再編損 | — | 39,958 |
| 特別損失合計 | 737 | 41,311 |
| 税金等調整前中間純利益 | 16,008 | 50,633 |
| 法人税等 | 2,706 | 4,349 |
| 中間純利益 | 13,301 | 46,284 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△) | 8,852 | △1,716 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 4,448 | 48,000 |

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|------------------|--|--|
| 中間純利益 | 13,301 | 46,284 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 188 | △42 |
| 為替換算調整勘定 | 17,383 | △24,014 |
| 退職給付に係る調整額 | 69 | 104 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | — | △5,034 |
| その他の包括利益合計 | 17,642 | △28,987 |
| 中間包括利益 | 30,943 | 17,297 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 18,730 | 30,515 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | 12,213 | △13,218 |

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 16,008 | 50,633 |
| 減価償却費 | 8,845 | 7,377 |
| 減損損失 | 264 | 1,330 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 3 | △18 |
| 退職給付に係る資産の増減額(△は増加) | △95 | △425 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 22 | △470 |
| 受取利息及び受取配当金 | △331 | △549 |
| 株式報酬費用 | 3,092 | 1,545 |
| 支払利息 | 682 | 1,479 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | — | △1,530 |
| 持分変動損益(△は益) | — | △97,148 |
| 事業分離における移転利益 | — | △7,510 |
| 事業再編損 | — | 39,958 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | 440 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 4,731 | 7,037 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △8,288 | △5,235 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △987 | 4,145 |
| その他 | △2,968 | 186 |
| 小計 | 21,419 | 805 |
| 利息及び配当金の受取額 | 337 | 276 |
| 利息の支払額 | △668 | △1,379 |
| 法人税等の支払額 | △5,180 | △1,222 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 15,907 | △1,520 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △17,045 | △15,201 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 23 | 2,070 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △357 | △282 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △15 | △0 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 2,349 | 131,371 |
| 事業分離による支出 | — | △2,436 |
| 事業再編による支出 | — | △7,986 |
| 貸付けによる支出 | △569 | △5 |
| 貸付金の回収による収入 | 5 | 0 |
| その他 | △150 | △191 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △15,760 | 107,338 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の増減額(△は減少) | 428 | △4,913 |
| コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少) | — | △5,000 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △420 | △497 |
| 長期借入れによる収入 | 18,100 | 224 |
| 長期借入金の返済による支出 | △17,905 | △18,304 |
| 自己株式の取得による支出 | △11 | △2 |
| 配当金の支払額 | △363 | △0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △172 | △28,494 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 7,335 | 349 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 7,311 | 77,673 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 63,814 | 48,115 |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | — | △27,899 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 71,125 | 97,890 |

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間末における株主資本は、前連結会計年度末と比較して、47,260百万円増加しております。主な事由として48,000百万円の間純利益を計上したことによるものであります。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。具体的な内容としては、当事業年度の所得に対する法人税、住民税及び事業税等を、その発生源となる取引等に応じて、損益、株主資本及びその他の包括利益(又は評価・換算差額等)に区分して計上することとしております。また、改正包括利益会計基準第8項における、その他の包括利益の内訳項目から控除する「税効果の金額」及び注記する「税効果の金額」について、「その他の包括利益に関する、法人税その他利益に関連する金額を課税標準とする税金及び税効果の金額」に表示を変更しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、2022年改正適用指針のうち、子会社に対する投資を売却した時の親会社の持分変動による差額に対する法人税等及び税効果(第9項(3)、第30項、第31項及び第51項(3)参照)の改正については、適用初年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の適用初年度の累積的影響額を、適用初年度の期首の利益剰余金に加減するとともに、対応する金額を期首の資本剰余金に加減し、当中間連結会計期間の期首から新たな会計方針を適用しております。

なお、中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年中間期及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

なお、中間連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社グループは半導体デバイス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループは半導体デバイス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。